

2023 な な さ と

㊤るほど ㊤っとく ㊤あ ㊤りくむぞ！やって伸びる七里っ子！



R5. 9. 26 (火)
第35号
文責：校長 川添
七里小学校

主役はみんな！僕らの番だ♪ 45名みんなの輝きが心に焼き付いた 最高の令和5年度運動会



23日、運動会当日は、早朝の雨にはヒヤッとしましたが、競技が始まる頃には、爽やかな秋風が吹き、陽射しも差し始め、グラウンドを運動会日和で包んでくれました。

その中で、子どもたちは最高の運動会を創り上げてくれました。一人ひとりが、**主役としてがんばるのは、自分たちだ！**という気持ちでグラウンドに立ち、自分にできる最高のパフォーマンスを披露してくれました。勝負の結果はわずか2点差で赤組の勝利となりましたが、全てを終えた時の達成感に満ちた笑顔！そこには、赤も白も関係ありませんでした。一つの大きな行事を、みんなで創り上げた喜び！それこそが、運動会を通して45名みんなで追い求めてきた「満足」の形そのものだったはずです。

特に小学校生活最後の運動会となった5名の6年生の思いは、特別だったと思います。ダンス曲の歌詞にもあるように「**僕らの番だ！**」という思いは、競技や応援や係の仕事に対する姿勢からも伝わってきました。5年生の時は、「来年、応援団長に誰になる??」「応援合戦であんなに声を出すことができるかなあ?」「一輪車、来年にはスイスイ乗れるようになるかなあ」と、最後の運動会に対する不安の方が大きかったのではないのでしょうか？

でも、今年、子どもたちの中にそんな不安は微塵も感じられませんでした。係の席で「応援団長をやってよかった！**去年までと感動がぜんぜん違う**。来年、絶対やりよ！」と5年生に話す赤組団長！閉会式で少し失敗して落ち込む5年生に「〇〇のおかげで、**一生忘れられない運動会にしてもうえたよ！ありがとう**」と優しく声をかける白組団長！日頃はあまり感情を表に出さない6年生が、競技の判定のたびに飛び上がって喜んだり、「ヨッシャー」と声をあげたり、ダンスの時にみんなの視線を釘付けにするほどの笑顔とパフォーマンスを見せてくれたり、係長として4・5年生をリードしながら素晴らしいアナウンスを響かせてくれたり……。難題だった一輪車の競技が終わった後、5年生の時から2年間関わってくれている光明教諭のところに走って行き、「先生、成長を感じてくれました？」「先生、泣きゆうやん。」と会話する姿……。「感動させて先生を泣かそう！」という目標を密かに立てていた5名の作戦は大成功だったようです。



6年生以外の子どもたちも、それぞれに成長を感じさせてくれました。しっかりと目標を持って取り組んだからこそ、成長を感じ合うことができたのだと思います。閉会式のあいさつで古谷会長さんがお話してくださったように、**運動会で付けた力を次の行事や日頃の生活や学習の中で生かしていきましょう。**



これからも、みんなで力を合わせてがんばろうね！

PTA 役員はじめ保護者の皆様、本当にありがとうございました！

今日、山脇教育長さんが来校されていて、「運動会が終わって、昨日が代休やったはずなのに、運動場も校舎もすっかり片付いていますね。」と驚かされていました。「普通だったら今日は片付けの時間が必要ですけど、運動会の日には保護者が最後まで手伝ってくださったからこの状態にまで片づけることができたのです。」と伝えると、「**さすが七里のPTAですね！**」と感心されていました。今年度本校に着任した大窪教頭や市川教諭も口をそろえて、「PTAの協力体制がすごい！」と感激していました。本当にたくさんのお力添えをありがとうございました。